

寝取られ専門サークル：NTRマゾヒスト

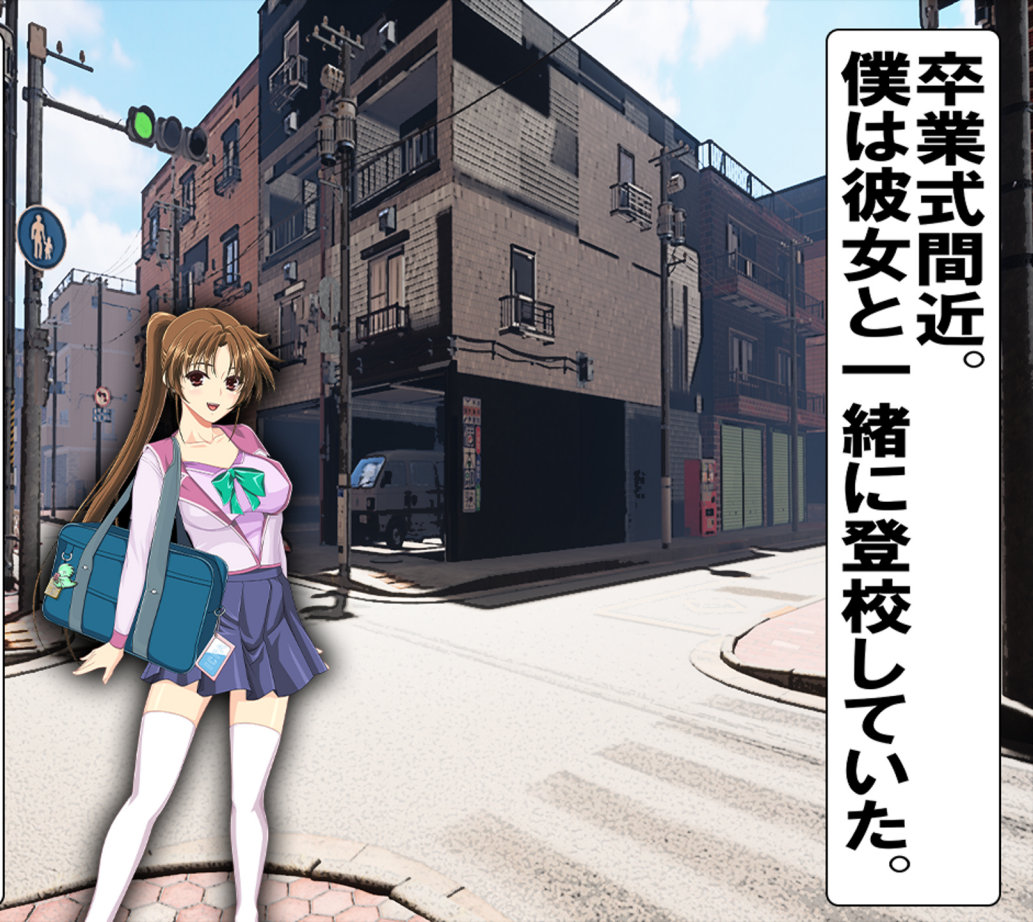
お尻叩きされながら、
僕が寝取られる物語

第一章



女子高生の彼女は、女王様

卒業式間近。
僕は彼女と一緒に登校していた。




この頃はまだ……
彼氏彼女の関係だったんだ……。

「おはよ」

「うん。おはよう」



僕は、小池里奈を尊敬していた。
僕が狙っていた学部にも現役合格。
僕は不合格だった。
ただ、一浪すれば入れそうではあったので
それほど慌ててはいなかった。



大して、思い入れはなかった教室だけど、
里奈が泣いていたのだけは、印象的だった。

これが僕にとって最後の学び舎になるとは
この時はほんの少しも考えていなかった。



さて、クン。

卒業式の後に、ラブホに連れ込まれた気分はどう？
一緒のゼミに行こうって言ったのに
どうして、キミだけ「不合格」なのかな？



お仕置
きが必要
だよね？
それも、
キツ
く
く
く
い奴
(笑)





ハンブラーとかいう
キ♥タマを挟み上げる器具で、
尻とキ♥タマを捻り上げられ、
僕は、無抵抗なまま
彼女の怒りを尻に叩きつけられた。

一緒に入学式出来なかった罰として、

今日からオナニー禁止

合格するまでオナニー禁止

チ♡ポに、貞操帯着用

鍵は私が預かります

定期的に、模試の結果を見せに来て

(その時、貞操帯の中の洗浄を許します)

分かった？



返事!





貞操帯持ってきてるから
今、嵌めちゃおっか♡

返事は…？
「はい。分かりました」でしょ？
M男の分際で、返事も出来ないとか
ありえないでしょ？







良いじゃん。
これで、勉強に集中できるね！
合格するまでオナニー禁止！

まずは、2週間。

オナ禁チャレンジいっくッ
笑

セックス出来ると思った？
不合格くんは、
セックス禁止で〜〜す（笑）



こうして、僕の
高校生活最後の日は
終わった。

そして、その日の夜
両親からこう言われた。

